

	Class[E]	Class[D]	Class[C]	Class[B]	Class[A]	Class[S]	全Class共通
目標到達点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の3和音 ・ガイドーン ・基本の4和音 ・ルート音の場所を覚える 	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアドの理解 ・ナチュラルテンションコード 	<ul style="list-style-type: none"> ・オルタードテンションコード ・sus4コード ・裏コードを使ったバックギン 	<ul style="list-style-type: none"> ・Lower Structureの考え方 ・ウオーキングベース ・ハーモナイズドベース ・イントロ&エンディング 	<ul style="list-style-type: none"> ・4和音コードの転回形 ・Voice Leadingの理解 ・Upper Structure Triad ・Upper Structure 4-note 	<ul style="list-style-type: none"> ・4thボイスギン(4度堆積) ・Spread Triadを使う ・特殊ボイスギン 	<ul style="list-style-type: none"> ・バックギンのリズムをマスターする ・定番コード進行を覚える ・バックギンの心得を理解する
モジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは基本の3和音 ・ガイドーンを極める ・基本の4和音をマスターする ・ルート音の場所を覚える ・ツーフाइブのボイスギンを極める「初級」 	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアドの基本 ・トライアドの転回形 ・テンションコードの考え方 ・ナチュラルテンションを使ったボイスギン ・ナチュラルテンションの組み合わせ ・ツーフाइブのボイスギンを極める「準中級」 	<ul style="list-style-type: none"> ・オルタードテンションを使ったボイスギン(7thコード) ・オルタードテンションの組み合わせ ・ナチュラル&オルタードの合わせ技 ・デミニッシュ7thコードを7th(b9)として使う ・sus4コードを極める ・ツーフाइブのボイスギンを極める「中級」 	<ul style="list-style-type: none"> ・Lower Structure Triad (LST)の考え方 ・裏コードを使ったバックギン ・ギターウォーキングベースを極める ・ハーモナイズドベースを極める ・コード&メロディーを極める ・イントロ&エンディングの手法 	<ul style="list-style-type: none"> ・4和音コードの転回形を極める ・ツーフाइブのボイスギンを極める「準上級」 ・アッパーストラクチャートライアドを極める ・アッパーストラクチャー4-note-voicing ・Voice-Leadingでハーモニーの流れを美しく 	<ul style="list-style-type: none"> ・4th Voicing(3和音)を極める ・4th Voicing(4和音)を極める ・4和音コード【上級編】 ・ツーフाइブのボイスギンを極める「上級」 ・【特殊Voicing①】Drop2&3の4和音 ・【特殊Voicing②】Drop2&4の4和音 ・【特殊Voicing③】Double Drop2&3の4和音 	<ul style="list-style-type: none"> ・定番コード進行(Ⅱ-VとⅢ-VI-Ⅱ-V) ・バックギンのリズムを極める ・循環進行のボイスギンを極める ・セッションにおけるバックギンの心得【最重要】
概要	<p>まずはジャズギターコードの基本中の基本である、ルート・3度・7度の3和音コードをマスターします。3和音コードを覚えたら、3和音からルートを除いたガイドーンでバックギンができるようになります。テンションを入れるようになると、ルートを着いて、ガイドーン+テンションという音の構成になるので、ガイドーンは必須です。また、4和音コードもこのクラスでマスターしてください。4和音コードは、バレーコードでちゃんと音を鳴らすことができるかどうか大切なポイントです。このクラスの間に、指板上の5弦と6弦のアルファベットの位置を完璧に把握できるようになることも大事な目標となります。</p>	<p>クラス[D]では、ナチュラルテンションを完璧にマスターしてください。3和音もしくはガイドーンに9th、11th、13thを加えてテンションコードを弾きます。1弦・2弦上で何のテンションを使えるかを把握し、自由にテンションを加えることが出来るようになります。また、トライアドについてもこのクラスで習得しますが、クラスが上がるるとトライアドの知識を活用することが増えるので、ここで基本的なトライアドの形や転回形を覚えておくことをおすすめします。</p>	<p>クラス[C]では、オルタードテンションコードをメインに習得します。ナチュラルテンションを変化させたものがオルタードテンションであることに関連付けて覚えましょう。テンションコードとしての形を覚えるのではなく、ガイドーンに自由にテンションを付け加えることが出来るようになるのが目標です。テンションをさまざまな組み合わせで使い、サウンドに変化をもたらす事が出来るようになります。また、ジャズでよく使われるsus4コードのフォームや、裏コードについての理論や実践でどのように裏コードを使えば良いのか、その方法論を学びます。</p>	<p>クラス[B]では、まずLower structureについて理解してください。ルートの上に別のコードが乗っている状態、そのコードが出来上がっているという考え方ができるようになります。今後のアッパーストラクチャートライアドなどを使いこなす上で非常に大切な考え方となります。また、ギターデュオなどのセッションで必須となるウォーキングベースのテクニクを習得していただきます。また、そのウォーキングベースの難易度をさらに上げたハーモナイズドベースについても学んでいきます。同時に、このレベルまで来るとソロギターのアップローチとしてコード&メロディーにも挑戦します。そして、セッションで必ず必要になるイントロ&エンディングの手法についても学びます。</p>	<p>クラス[A]では、多くのギタリストが学ぶことのない4和音コードの転回形について深く学んでいきます。転回形をマスターするだけで、あなたのコードボイスギンのパリエーションは飛躍的に上がります。各コードの押さえ方の種類が数倍になるだけでなく、それらを別のコード上で使うスキルを一緒に身に付けていきます(Upper structure 4-note)。また、コンテンポラリー系に必須となるUpper Structure Triadについてもこのレベルでしっかり学んでいきます。コードフォームを覚えるのではなく、理論をしっかりと理解し、自分でそのコードフォームを導き出すことが出来るようになるのがこのレベルで達成したい大きな目標です。</p>	<p>クラス[S]では、4度堆積コードをマスターします。抽象的なサウンドで、コンテンポラリーには必須であり、時にはオーソドックスなスタイルへの良いアクセントにもなるコードです。モード曲のバックギンは基本的に4度堆積コードで行うため、その点においても習得必須のコードとなります。ルートから強くという概念を捨て、よりスケール(メロディー)的に弾く4度堆積コードをマスターしましょう。また、ソロギターなどでも活躍するSpread Triadの実践的な使い方や、一般的なギタリストはほぼ使わない、Drop2&4やDouble Drop2&3などの特殊なコードボイスギンを学びます。その他、mMaj7やMaj7#5といった複雑なコードの4和音コードの応用についても習得していただきます。</p>	<p>全クラス共通の内容は、どのレベルにおいても必ず習得していただきたい項目です。上記の3項目は全ての人に必須の内容となります。まずはジャズ特有のバックギンリズムをマスターすることです。先人達のバックギンのリズムを分析し、それらを細分化し、いくつかのパターンに分類したものを順にマスターしていけば、裏拍を主とするジャズのバックギンリズムを習得できます。また、2-5-1や3-6-2-5などのスタンダードを弾くために必須のコード進行を覚えることや、実際のセッションにおいて、コードボイスギン云々ではない、よりクリエイティブなインタープレイを楽しむためのスキルや考え方を学びます。</p>